

第22回

【ザッ 資産運用！】

～緊急報告 2030年のインドを読む！～

2019年4月7日

ファイナンシャルプランナー

洞口 勝人

《当資料をご利用いただく際の留意事項》

本プレゼンテーション資料は、投資情報を提供することを目的としてCFP洞口勝人が作成したものであり、金融商品の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本プレゼンテーション資料は将来の結果をお約束するものでも、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございません。

本プレゼンテーション資料でとりあげる商品等へのご投資には、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、変額年金保険の場合は個別商品毎に設定された手数料等をご負担いただく場合があります。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、金融商品取引業者より当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書、またはお客様向け資料をお受け取りのうえ、よくお読みいただき、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。

本プレゼンテーション資料により生ずる結果について、CFP洞口勝人及びまぐまぐは何ら責めを負うものではありませんので、予めご了承ください。

■ 洞口 勝人（ほらぐち かつひと）

ファイナンシャルプランナー（CFP 日本FP協会認定）。

1963年岐阜県出身。86年早稲田大学教育学部卒業後、日興証券（現SMBC日興証券）入社。

02年3月退職と同時にFPとして独立。

現在は、「公平・中立・客観的」「数字による見える化」「数字をカミクダク」をモットーに

- ～学校では教えてくれない～『身近な経済・お金の話』
- ～金融機関では教えてくれない～「金融資産運用設計」
- 「5000万円ではリタイア後は暮らせません！？」
- なぜ「外貨建て資産」をポートフォリオに組入れるべきなのか？

を中心テーマに、投資・金融・経済教育に注力している（年間講演回数約370回・受講者数約3万人）。

主な講演・出演歴

NHK「人材育成セミナー」講師

早稲田大学オープンカレッジ 講師

全国の金融機関における研修・セミナー講師

テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」等出演

小中高校の総合学習の時間における講師を数多く務める

主な著書

「なぜ、スーパーの『1万円の売上』は『80円の利益』にしかないのか？」

書籍 & 電子書籍 「35歳までには最低知っておきたい『経済学ドリル』」等多数

※ 現在、日銀の依頼を受け、全国にて金融広報活動を展開中

※ 現在、まぐまぐにて 洞口勝人の「ザッ 資産運用！」 動画配信中

<http://www.mag2.com/m/0001680239.html>

カリキュラム

■ 緊急報告 2030年のインドを読む！

- ムンバイのタクシー 車間距離は？
- 平均年齢 & 平均寿命 & 高齢化率
- 新聞
- 賃金
- ヘアカット
- 普及率 & インフレ
- 人口推移
- GDP
- 預入金利 VS 借入金利
- インドの所得水準 & インドのポートフォリオ
- インド株式
- 金(GOLD) & モハール金貨
- ポートフォリオ再構築
- 結論



アーメダバード高速鉄道計画
(ムンバイ ~ アーメダバード間)

- 総 全 長: 約500km
- 総事業費: 約9,800億ルピー(約1.7兆円)

日本の人材・技術を軸とした支援により、2018年着工、2023年開業を目指し計画中です。



国道開発計画

完成に近づいており、残りは一部区間(約630km)となっています。



(注) アーメダバード高速鉄道計画の総事業費は2017年5月末現在の為替レートを使用して円換算(1ルピー = 1.716円)。(出所) 各種報道等
※写真はイメージです

ムンバイのタクシー 車間距離は？

1. 1m
2. 50cm
3. 20～30cm
4. 2～3cm

2020年の平均年齢(中央値)予想値は？

①日本 _____ 歳

②インド _____ 歳

高齢化率(65歳以上人口の割合)は？

①日本 _____ %

②インド _____ %

平均寿命は？

①日本 男性 歳
 女性 歳
 全体 歳

②インド 男性 歳
 女性 歳
 全体 歳

朝刊1部の値段は？

①日本(読売新聞)

_____ 円

②インド(The time of India)

_____ 円

工場で働く人の時給は？

①日本 _____ 円

②インド _____ 円

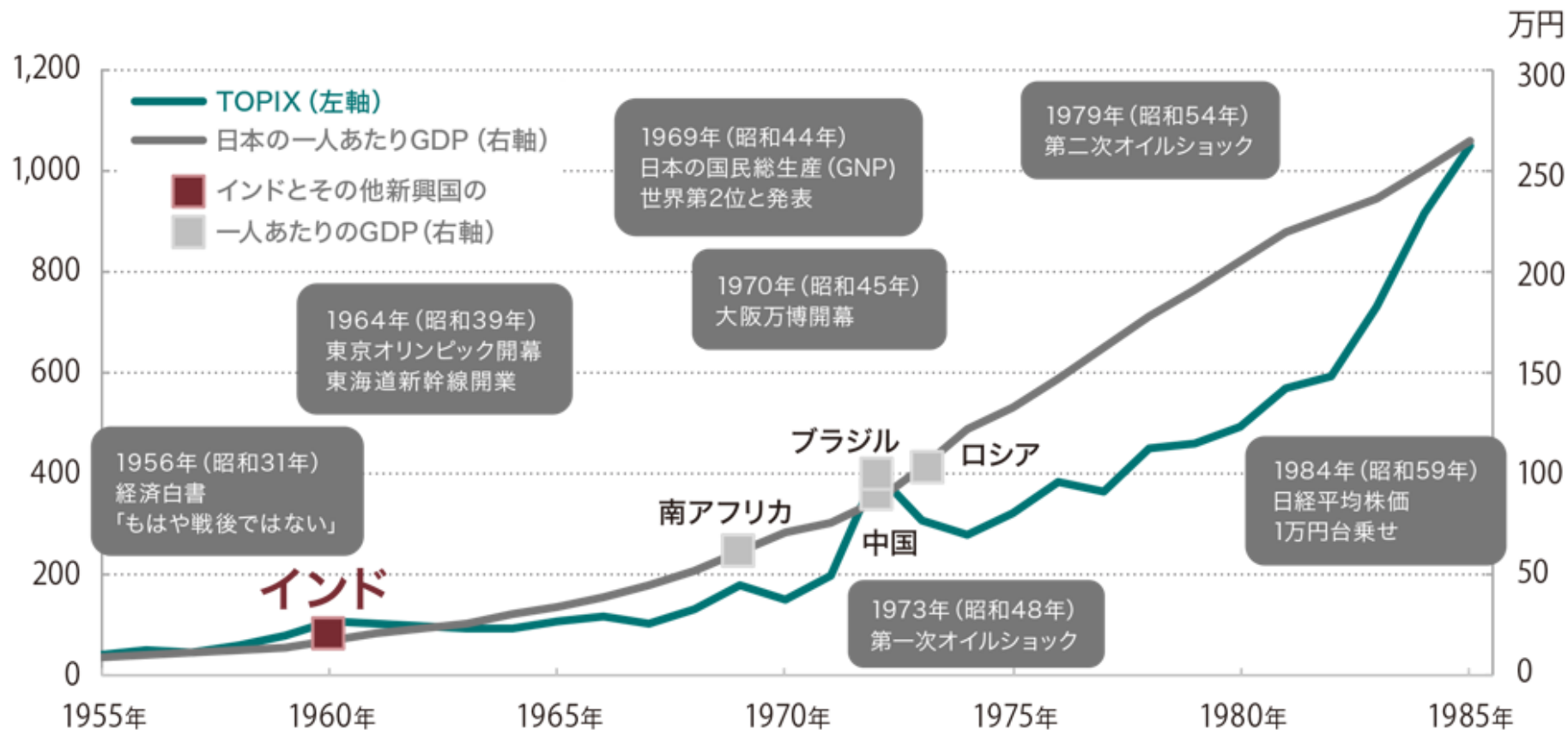
普及率 & インフレ

～日本のいつ頃と同じ？～

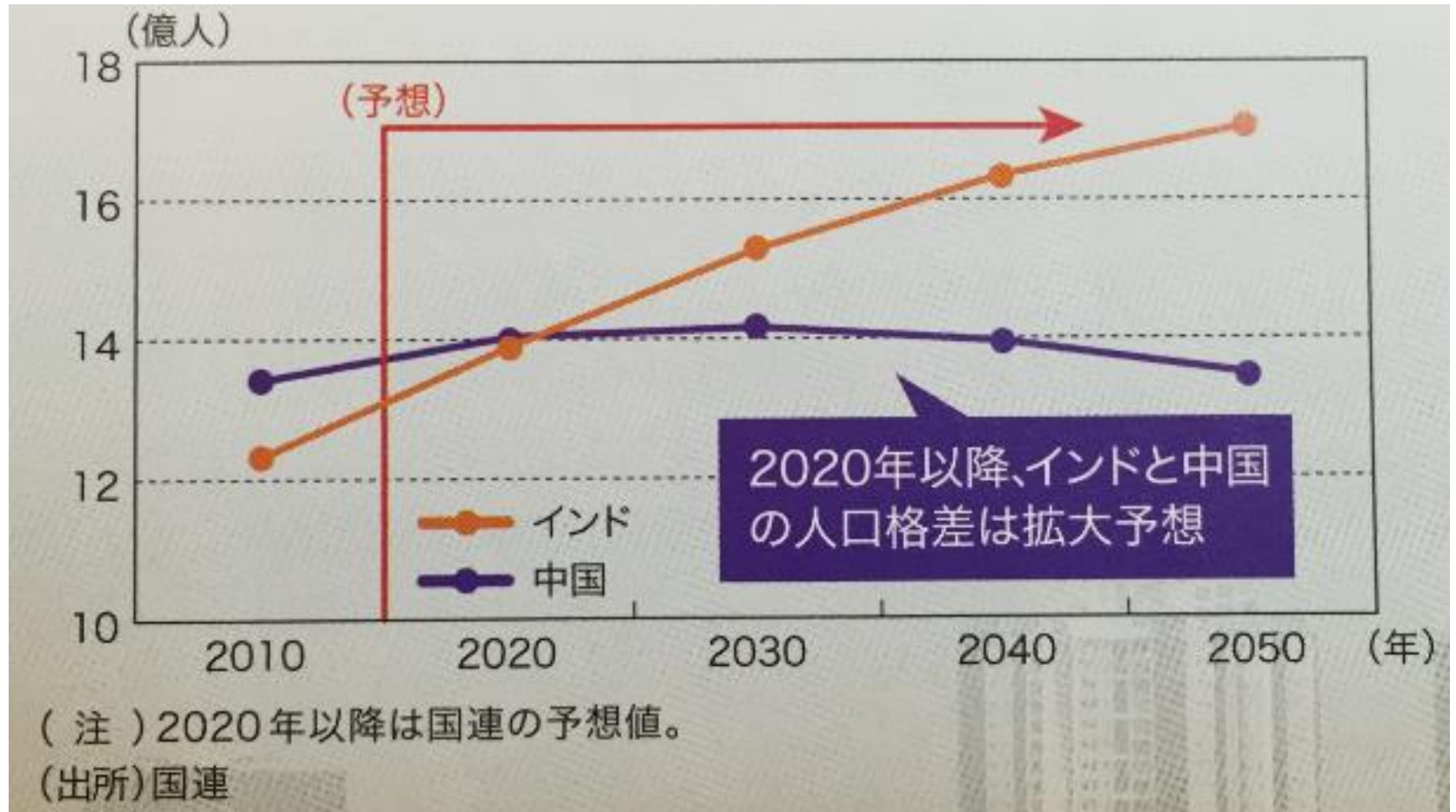
	朝刊1部	工場労働者 時給	散髪代 (都内)
日本	円	円	円
インド	円	円	円

日本の1人あたりGDPとTOPIXの推移、2017年のインドとその他新興国の1人あたりGDP（推定）

（期間：日本のデータは1955年～1985年、新興国の1人あたりGDPは2017年10月時点の推定）



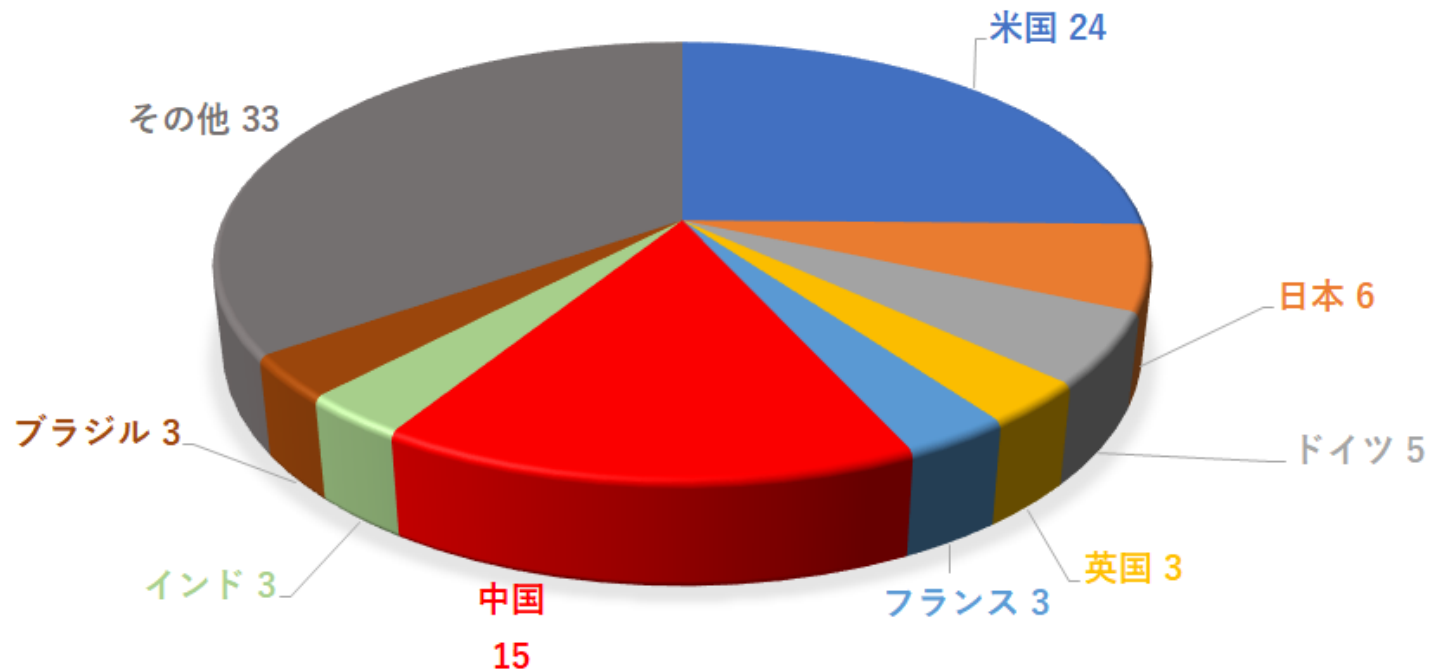
インドの人口推移



GDP

- 世界全体のGDP 約80兆ドル
- インドのGDP 約2.6兆ドル

2017年 世界名目GDPシェア



GDPは世界第6位。では、1人あたりGDPは
世界約200ヶ国中第何位？（2017年）

1. 85位
2. 115位
3. 145位
4. 175位

1000万円の定期預金。
インドの1年間の利息は？

税引き前 _____ 円

主要経済指標

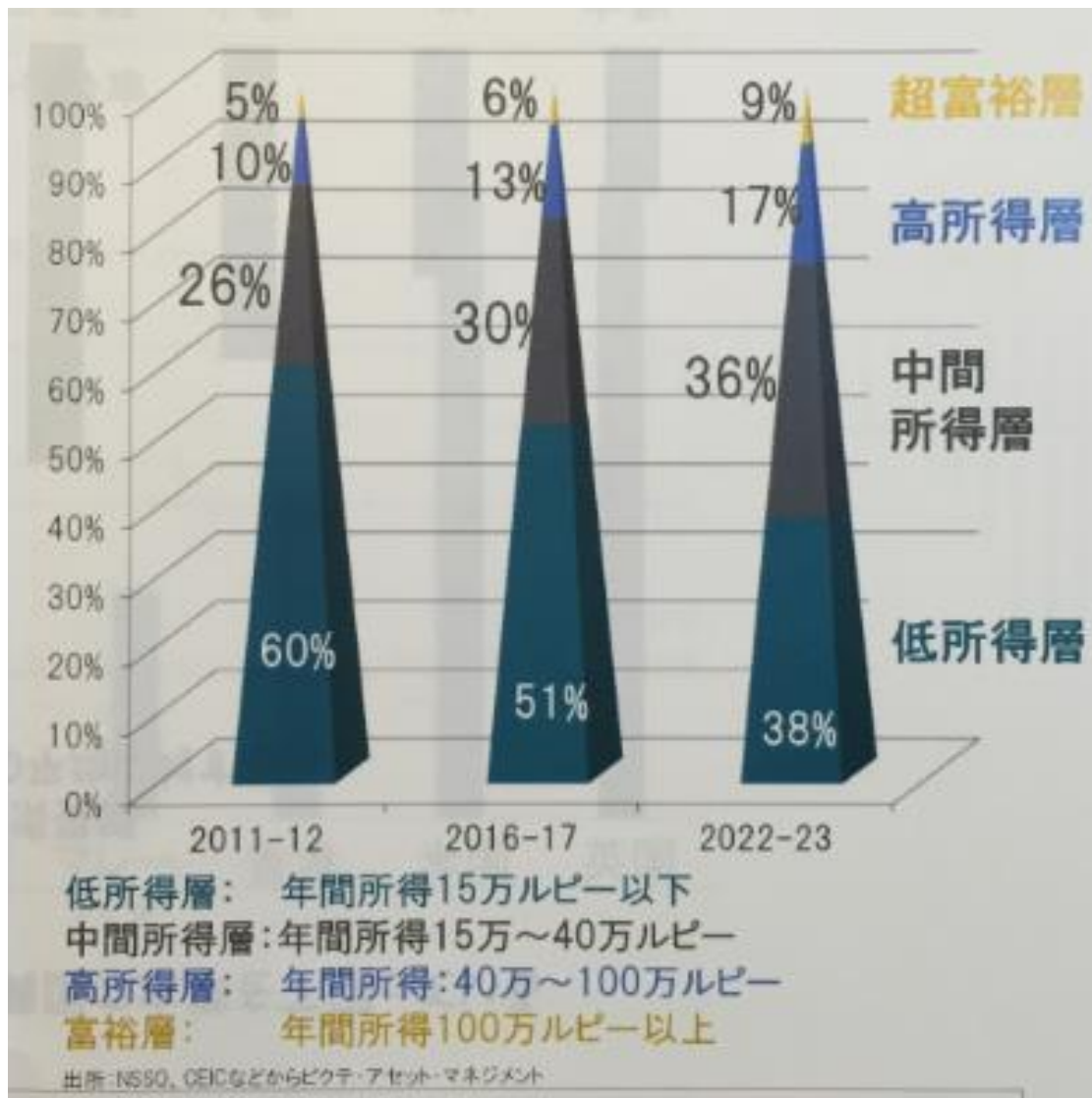
	単位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
名目GDP (*)	億ドル	12,387	12,241	13,654	17,085	18,230	18,290	18,632	20,426	20,730	—
1人あたりGDP (*)	ドル	1,081	1,053	1,159	1,430	1,497	1,471	1,479	1,601	1,604	—
実質GDP成長率 (*)	%	9.8	3.9	8.5	10.3	6.6	5.5	6.5	7.2	7.9	—
人口 (*)	100万人	1,146	1,162	1,178	1,195	1,217	1,243	1,259	1,276	1,293	—
消費者物価上昇率	%	6.4	8.4	10.9	12.0	8.9	9.4	9.9	6.6	4.9	4.9
輸出額	億ドル	1,502	1,948	1,649	2,264	3,029	2,968	3,148	3,225	2,678	2,643
輸入額	億ドル	2,294	3,210	2,572	3,502	4,645	4,897	4,654	4,629	3,938	3,596
貿易収支	億ドル	-792	-1,262	-923	-1,239	-1,616	-1,929	-1,506	-1,404	-1,260	-953
経常収支 (*)	億ドル	-157	-279	-384	-460	-782	-878	-324	-267	-221	—
直接投資流入額	10億ルピー	797	1,397	1,310	960	1,274	1,216	1,295	1,753	2,526	—
外貨準備高	億ドル	1,919	2,992	2,414	2,547	2,743	2,601	2,597	2,764	3,173	3,361
為替レート (年平均)	ルピー/ドル	41.35	43.51	48.41	45.73	46.67	53.44	58.60	61.03	64.15	67.20

(注) (*) は年度を表す。2015年の数値は2015年4月から2016年3月までの年度を表す

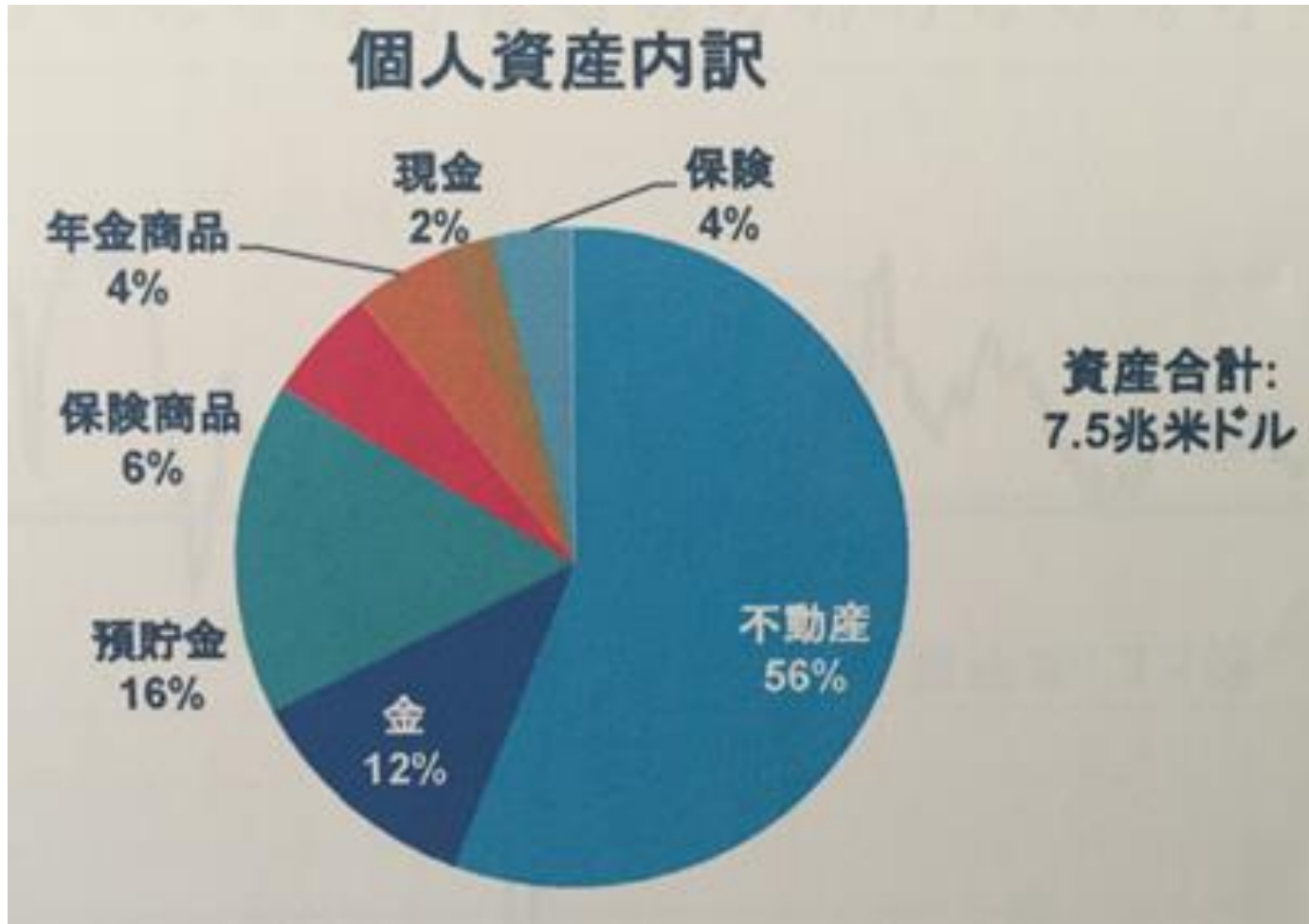
(出所) IMF、中央統計局、商工省、インド準備銀行、DIPP より作成

インドの所得水準

※参照:ピクテ投信投資顧問



インドの個人資産内訳



金の時価総額は、わずか約800兆円

- $7.5 \text{兆ドル} \times 111 \text{円} = \text{約}830 \text{兆円}$
- 金融資産 $830 \text{兆円} \times 0.32 = 265 \text{兆円}$
- $265 \text{兆円} \div 13.2 \text{億人} = \text{約}20 \text{万円} / \text{人}$

- 金 (GOLD) $830 \text{兆円} \times 0.12 = \text{約}100 \text{兆円}$
- $100 \text{兆円} \div 13.2 \text{億人} = \text{約}7.5 \text{万円} = \text{約}16 \text{g}$

- 年率 +7.5% の伸び \Rightarrow 2030年に2000兆円
- 2000兆円の12% = 240兆円
- 仮に15億人 $\times 50 \text{g} \times 4600 \text{円} = 345 \text{兆円}$

- 未だに、不動産は半分現金で買らしい

インド株式 (sensex: 11年)

* 各種データより作成
単位:ポイント



NEXT FUNDS インド株式指数・ Nifty 50連動型上場投信（1678:10年）



* 各種データより作成

単位:ポイント

インドルピー(対円:10年)

* 各種データより作成
単位:ポイント

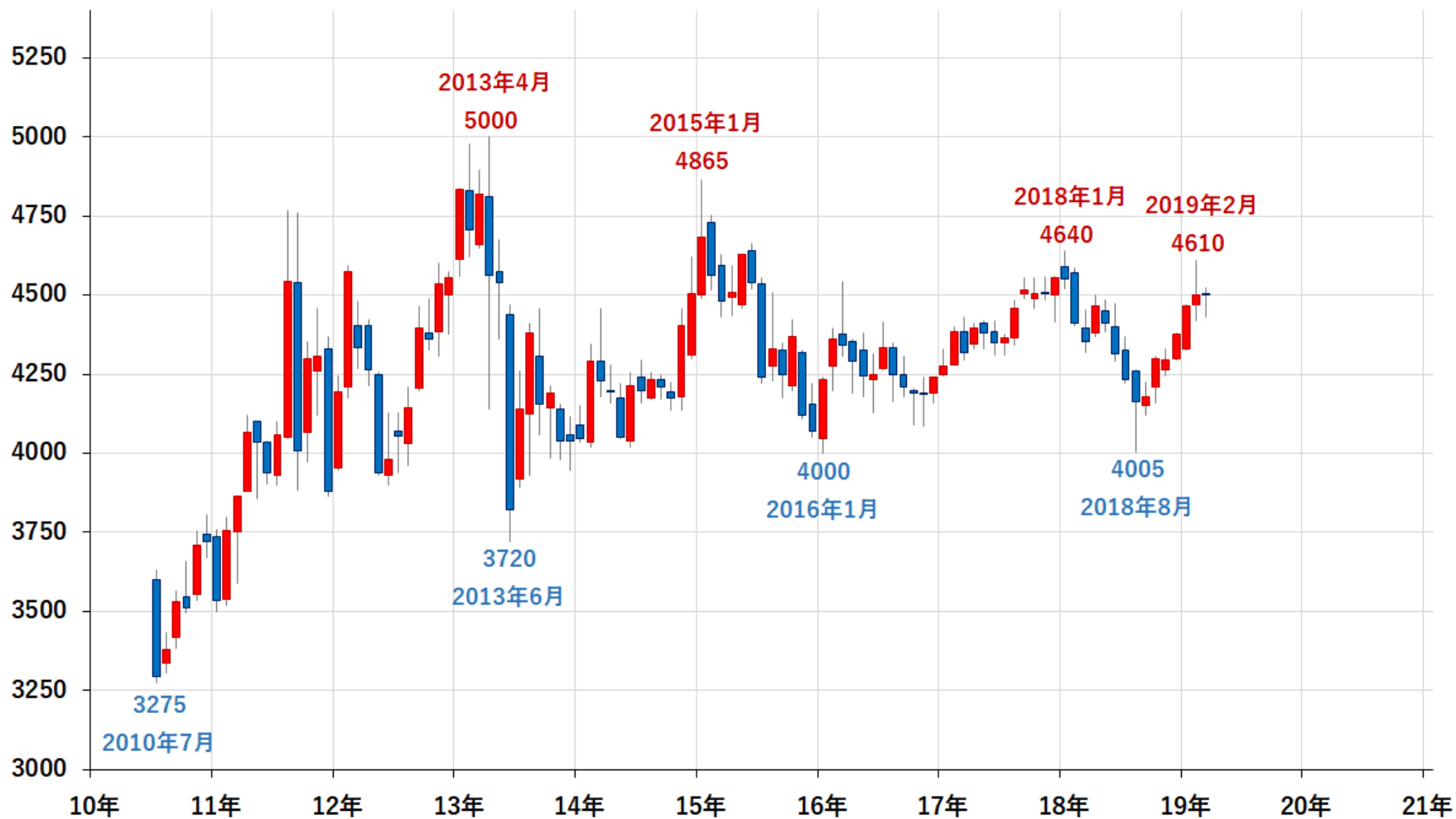


インド モハール金貨



純金上場信託(現物国内保管型) (ETF1540:9年)

* 各種データより作成 単位:円

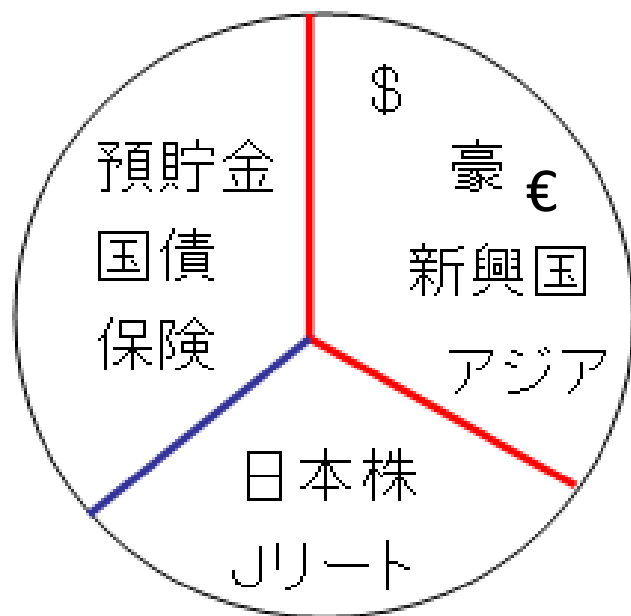


GOLD(ドル建て:10年)

* 各種データより作成
単位:米ドル



ポートフォリオ再構築



- ①マイマネー
()
- ②外貨マネー
()%
- ③通貨
・米、豪、リアル等
- ④株式
()%

■ 全体の目標利回りは _____ % ⇒ 税引き後 _____ %

■ 外貨建て資産&インフレに強い資産の目標リターンは約 _____ %

結論

ポジティブ要因

- 人口 13.5億人(2018年) ⇒ 15億人強(2030年)
- 富裕層 & 高所得層の大幅な増加
- 新聞・給与・散髪代等から、55～60年前の日本に近い
- 経済成長率(7%台)を上回る株価の上昇が中長期に期待される
- 日本人 & 日本企業に極めて好意的
- 圧倒的に金(GOLD)を好む

ネガティブ要因

- 経常赤字、貿易赤字 ⇒ 通貨安
- 格付けがBBB-と低い
- 政治 & 何事にも時間がかかる

結論

- これからの15年間、世界最大の成長エリアであるインド。
金融資産全体に占めるインド株式の割合を、GDP比率の**3%⇒5%**に高めるべき！
- マネーに対して**2%**の金(GOLD) & アンティーク金貨を、**15%**に高めるべき
- 毎月の積立て投資 & 積立てNISAに適している
- ごちゃごちゃ言わずに一度インドに行ってみるべし！